

## 地域・テーマ公益ポータル推進プロジェクトに関するQ&A一覧

発行者名：I I H O E [人と組織と地球ための国際研究所]

作成日：2008年9月10日

本資料は、I I H O EとCANPANが2008年より主催する地域・テーマ公益ポータル推進プロジェクトに関するQ&Aです。

本年5月、8月に開催したプロジェクトの推進会議において、本プロジェクト参加の18の中間支援組織から出された公益ポータルの開設や運用に関する質問に対し、I I H O EとCANPANによる回答を一覧にしております。

なお、本プロジェクトの趣旨や背景、概要につきましては、プロジェクトの専用ブログで公開しておりますので、まずはそちらをご参照ください。

(「地域・テーマ公益ポータル推進プロジェクト」ブログ <http://blog.canpan.info/portal/> )

### [回答者について]

質問の内容により回答者が異なりますので、ご確認ください。

- ・ I I H O E : I I H O Eからの回答
- ・ I I H O E (&CANPAN)  
: I I H O Eからの回答だが、CANPANにもご検討いただいた回答
- ・ CANPAN : CANPANからの回答

### 1. 公益ポータルに関する基本的事項について

Q 1. 地域・テーマ公益ポータルサイトとは？	<u>回答者：I I H O E</u> 「ポータルサイト」とは、「さまざまな情報の玄関口となるホームページ」という意味です。 自分の困りごとを解決するために、また会員やボランティア、寄付者として支援するために、信頼できるNPOを見つけることができるポータルサイトがあれば、市民にとって便利です。同様に、企業がCSRへの取り組みのパートナーとして、行政が協働のパートナーとして、信頼できるNPOを見つけることができるポータルサイトがあれば、新たな結びつきが生まれるきっかけとなるでしょう。 このように、地域ごとやテーマごとに、NPOなどの公益的な活動を統合的に紹介するポータルサイトを、「地域・テーマ公益ポータル」(以下、「公益ポータル」)と呼んでいます。 なお、「地域内で、テーマにもとづくコミュニティを作りたい」場合には、「地域×テーマ」のポータルサイトを運用することもできます。
----------------------------	--

<p>Q 2. 公益ポータルは、どのような主体が、どのような目的で運用することを想定していますか？</p>	<p><u>回答者： I I H O E</u></p> <p>NPOに情報開示を促し、市民や企業・行政との支援や協働へと結びつけるには、地域ごと・テーマ分野ごとのポータルサイトの活用が有効であり、その運用者は、地域や活動テーマ別の中間支援組織（NPO支援センターなど）が最適です。</p> <p>現在、既に地域や分野を定めて、NPOと顔の見える関係を築き、運営支援に取り組んでいる中間支援組織が、公益ポータルの運用者となることで、NPO側から発信される情報の量を増やすことはもちろん、その質の向上も同時に実現することをめざしています。</p> <p>また、この公益ポータルによって、それぞれの地域や活動テーマごとに集約された公益活動に関する情報がつながり合うことで、やがてそれらが、全国規模での公益情報のデータベースへ（以下「DB」）と発展していくことをめざしています。</p>
<p>Q 3. NPOが社会からの支援を得るために、開示・発信すべき情報とは？</p>	<p><u>回答者： I I H O E</u></p> <p>NPOが市民や企業などから支援を得るためには、「感動」と「信頼」の両方が不可欠です。ブログなどを活用し、臨場感あふれる活動の報告や、日常のドラマ、感動的なエピソードを発信するなど、「鮮度」の高い活動情報を発信することは、団体への関心・興味を高め、NPO支援の動機づけとなります。</p> <p>その感動を支援へと導くには、団体が「信頼」されることが不可欠です。団体情報データベース（以下、「団体DB」）上で、詳細かつ正確に団体情報を開示することは、NPOが社会から信頼され、支援を受けやすくするために、非常に重要です。</p>
<p>Q 4. 公益ポータルが他セクターに与えるインパクトは？</p>	<p><u>回答者： I I H O E</u></p> <p>NPOの組織概要や事業について可視化されることで、行政や企業など他のセクターにとって、支援先や協働のパートナーを見出だす基盤となるでしょう。NPOと他のセクターとの協働を促し、社会的課題の解決を加速しましょう。</p>
<p>Q 5. 自治体が運営しているポータルサイトとの棲み分けをどうすればいいか？</p>	<p><u>回答者： I I H O E (&amp;CANPAN)</u></p> <p>一般的に自治体が運営するポータルサイトは、参加団体の多いことが目標であり、ゆえに団体登録（団体DB）に必要な情報開示のレベルが低く、団体概要を開示している程度です。また、登録メリットも、ほとんどありません。</p> <p>社会からの支援、協力を獲得するために高い水準での情報開示を求める公益ポータルとは、その目的が異なります。</p> <p>運営する側が、情報開示する団体にどんな価値や機能を提供できるかを示すことで、棲み分けは自然に行われるはずで。</p> <p>行政からの委託や指定管理により、ポータルサイトや団体DBを管理、運営する場合でも、中核となるポータル運用は、中間支援組織の本体の取り組みとし、ポータルのサービスや、情報を行政に提供する場合は、利用料を払って利用してもらう方が運用の自由度や継続性の観点からも、有益でしょう。</p>

2. 公益ポータル機能について	
Q 6. 公益ポータルの基本的な機能は？	<p><u>回答者：CANPAN</u></p> <p>公益ポータルでは、「MOD x（モドエックス）」という管理機能を利用しています。このMOD xで初期設定されている機能は、ポータルとして認証するための団体情報データベース機能とその団体の団体ブログの更新状況を表示する機能になります。その他の機能については、各公益ポータル運用者の方針に合わせて、拡張できるものとします。</p> <p>たとえば、せんだい・みやぎNPOセンターが運営する「みやぎ公益活動ポータルサイト みんな」のように、NPOの情報開示や発信を促すには、寄付や助成、企業や行政との協働など、NPOの活動発展のきっかけとなる情報の収集や発信の機能を付加することも重要です。</p> <p>ただし、MOD xの技術習得がある程度必要となります。</p> <p>&gt;みやぎ公益活動ポータルサイト みんな  <a href="http://minmin.canpan.info/">http://minmin.canpan.info/</a></p>
Q 7. 公益ポータル構築数にシステム上の制限はあるのか？	<p><u>回答者：CANPAN</u></p> <p>サーバーの容量の関係で、構築数に制限がございます。</p> <p>ただし、プロジェクトの進行状況に応じて、サーバーの増強などの対応を検討いたします。</p> <p>なお、今年度は5団体程度を見込んでいます。</p>
Q 8. サブポータルはつくれるのか？	<p><u>回答者：CANPAN</u></p> <p>都道府県域の公益ポータル内で、市町村ごとやテーマごとに小分類して見せるなど、元となる公益ポータルの情報をベースにサブポータルをつくるには2つの方法があります。</p> <p>1つめは、新たに公益ポータルを立ち上げる方法です。ただし、サーバーの容量の問題がありますので、2008・2009年度は主となる公益ポータル構築を優先したいと考えています。</p> <p>2つめは、MOD xの機能を使ってサブポータルを構築する方法です。この方法であればサーバー容量の問題はありません。ただし、機能と技術の制約が伴います。</p>
Q 9. 運用者だけが見られる機能は？	<p><u>回答者：CANPAN</u></p> <p>登録団体からの相談の記録など、外部の人は見られないが、運用者だけが見られるような機能については、情報流出などのリスクから、当面は考えていません。</p>

【ブログ関連】	
<p>Q10. CANPANブログ以外のブログも、公益ポータルに参加（表示）させることができるか？</p>	<p><u>回答者：CANPAN</u></p> <p>現状は、公益ポータルで認証された団体の、CANPANの団体ブログのみ表示される機能が、初期設定で提供されます。</p> <p>今後はCANPANの個人ブログも表示対象になるように機能改善を行います。（12月を予定）</p> <p>また、GoogleリーダーやMODxのパーツを利用すれば、CANPANブログに限らず選んだブログを表示対象とすることが可能です。</p>
<p>Q11. 運用者側で「オススメ」記事の表示ができるか？</p>	<p><u>回答者：CANPAN</u></p> <p>ぜひ読んで欲しい記事を選んで、「オススメ」と表示することは、運用者（管理者）が手作業で行うことはできます。</p>
【団体情報データベース（DB）関連】	
<p>Q12. DBの項目は、最初から網羅的にするのか、最初は少数でもいいのか？</p>	<p><u>回答者：CANPAN</u></p> <p>団体DBは、社会から信頼や支援を得る基盤とすることが目的です。このため、数多くの団体から名前や連絡先など簡単な項目だけを集めるのではなく、たとえ団体数が少なくてもより詳しい情報を集めることが重要です。各運用団体には、情報開示度の高い団体を増やすことに努めてください。</p> <p>なお、CANPANの団体DBでは、情報開示レベル（開示項目の多さ）により★マークが0から5つまで表示される仕組みを導入しています。</p> <p>もう1つ重要な点として、情報が少なくとも年に1度は更新されている生きた情報であるということが大切です。最初ばかり正しい情報が入力されていても、3年後も同じ情報が表示されたままDBでは、情報としての価値がないばかりか、DBそのものの社会的信頼を下げてしまいます。</p> <p>&gt; CANPAN団体DB  <a href="https://canpan.info/dantai_list_view.do">https://canpan.info/dantai_list_view.do</a></p>

<p>Q13. 団体DBの開示項目のカスタマイズは可能か？ また、設問項目は独自に増やすことができるのか？</p>	<p><u>回答者：CANPAN</u></p> <p>団体DBの項目カスタマイズは難しいです。 現在の「団体基本情報」の項目は、80以上の助成機関の調査などを経て、社会から求められる基礎的な項目は網羅されていると考えており、まずこれらの項目の開示を促すことが重要と考えています。 設問項目は独自に増やしたい場合ですが、現状では「備考」の欄が複数あるので、その備考欄を別の項目として活用することをご検討ください。また、CANPANのDBから独自のDBへリンクして誘導する方法で補っていただくという方法もあります。 今後については、項目の設計を見直す可能性はありますが、その場合も個別のカスタマイズ機能の提供は難しいためフリーの項目を増やすなどの対応になると考えています。</p>
<p>Q14. 公開したい団体情報は、取材に基づく客観情報と、団体から提供された（またはお聞きした）基礎的データの組み合わせとしたい。 CANPANのシステムと合うのか？</p>	<p><u>回答者：CANPAN</u></p> <p>CANPANに機能を追加したり、団体情報データベースに項目を追加することは難しいですが、バナーやリンクなどを活用すれば、貴センターのサイトとCANPANをうまく連携して活用することが可能です。</p>
<p>Q15. 公益ポータル運用者は、各団体の更新状況を確認できるのか？</p>	<p><u>回答者：CANPAN</u></p> <p>可能です。各団体が「団体基本情報」を更新した際に、自動的に連絡メールが届きます（ただし、どの項目が変更されたかはわかりません）。このメールを受信するには、公益ポータル運用者が、各団体の「バーチャルメンバー管理者」として登録されていることが条件です。この登録を行っていただければ、運用者が各団体の情報を変更・更新することも可能です。 DBの情報が最新かどうかは、最終更新日でご確認いただけます。</p>
<p>Q16. ID発行は誰が行うのか？</p>	<p><u>回答者：CANPAN</u></p> <p>IDは、CANPAN上でユーザー登録を行うことで、自動的に発行されます。各運用団体では発行できません。</p>

<p>Q17. 既存サイト内でのデータ表示は可能か？</p>	<p><u>回答者：CANPAN</u> CANPANのデータを各センターの既存サイト内に表示することは可能です。 ただし、データはあくまでもCANPANのサーバー内にありますので、RSSやリンクによる表示となります。 また、このデータの保持の仕方について、各センターの理解とユーザーへの説明が必要となります。</p>
<p>Q18. 他の団体が運用する団体DBとの情報共有はOKか？</p>	<p><u>回答者：CANPAN</u> 基本的には問題ありません。 ただし、2次利用などについては事前の確認や調整が必要な場合もあるので、確認が必要です。</p>
<p>Q19. CANPANの団体情報（団体DB）の画面のレイアウトが見づらい</p>	<p><u>回答者：CANPAN</u> 画面上での表示より、印刷した際の見やすさを優先しているため、ご了承ください。</p>
<p><b>【決済機能について】</b></p>	
<p>Q20. 団体のクレジット決済については、いつからどのような形で利用可能か？</p>	<p><u>回答者：CANPAN</u> CANPANで提供する決済機能は、まずは会費や寄付での利用から開始します（7月からモニターによる試験運用中）。 この決済機能は、団体情報開示レベル★5つであれば、審査等の面倒な手続きもいらず、利用料も基本的には無料とすることで、簡単に気軽に利用できるように提供する予定です。 自主運営のファンドへの寄付を募るための決済機能としてお使いいただくこともできます。</p>
<p>Q21. 公益ポータル運用団体がモールをてるか？</p>	<p><u>回答者：CANPAN</u> 「寄付」と「会費」（参加費）の徴収については、上述のテスト開始以降は可能です。販売については、引き続き検討中。</p>
<p>Q22. アフィリエイトは可能か？</p>	<p><u>回答者：CANPAN</u> 各団体や個人のCANPANブログに、アフィリエイトやドロップシッピングをつけることは可能です。また、公益ポータルにつけることも可能です。 ◎不明な用語は<a href="http://e-words.jp/">http://e-words.jp/</a>で検索してみてください。</p>
<p>Q23. 日本財団を経由した指定寄付は可能か？</p>	<p><u>回答者：CANPAN</u> 制度上は、既に可能です。「日本財団夢の貯金箱プロジェクト」として取り組み中です。ただし、日本財団は特定公益増進法人ではありませんので、税制優遇は受けられません。 今後は、税制優遇を受けられるような処置を施す予定ですが、新公益法人法の施行の進捗によって実現する期間が変わってしまうため、まだスケジュールが見えない状況です。 詳しくは、CANPAN事務局にお問い合わせください。</p>

【助成事務サポート機能について】	
Q 2 4. 助成プログラムの運用をサポートする機能とは？	<p>回答者：CANPAN</p> <p>現時点では、どのような機能になるかは白紙の状態です。おおよかなイメージとして、団体DBを基軸に、各助成機関に申請できるよう、現在の日本財団のインターネット申請のような機能などを検討しています。</p>
【検索機能について】	
Q 2 5. 検索機能は充実させるのか？	<p>回答者：CANPAN</p> <p>公益ポータル内の記事検索機能を充実すると、外部の検索エンジンに引っかかりにくくなるため、独自の機能は設けず、Google等の外部の検索エンジンに委ねます。</p>
Q 2 6. 検索キーワードの変更（=カスタマイズ）は可能か？	<p>回答者：CANPAN</p> <p>SEO対策としてのキーワード変更であれば、MODxでも可能です。</p>
Q 2 7. 閲覧数をアップするために、キーワード検索の分析などは行うか？	<p>回答者：CANPAN</p> <p>どんな団体が、どんなキーワードで検索されているのかを知りたいというニーズは理解できるので、来年以降の検討課題とします。</p>
Q 2 8. 団体DBの検索結果を表示する際に、団体概要と写真も付記した一覧表示ができないか？	<p>回答者：CANPAN</p> <p>残念ながら、できません。今後のシステム開発についても未定です。</p>
【その他の機能について】	
Q 2 9. 公益ポータルの機能拡張の方法は？	<p>回答者：CANPAN</p> <p>公益ポータルの初期機能として提供されるもの以外にも、MODxのパーツを利用したり、他のサイトへのリンクを貼ることなどにより、様々な機能を利用することは可能です。</p>
Q 3 0. 団体DB以外のコンテンツ（助成金・イベント・ボランティア募集）もCANPANと情報共有できるか？	<p>回答者：CANPAN</p> <p>情報共有は可能ですが、データベースの共通化ではなく、ページ毎にリンクを貼る、RSS表示するなどの形での情報共有となります。</p>
Q 3 1. 各団体が自主更新できるイベントカレンダーは作れるか？	<p>回答者：CANPAN</p> <p>公益ポータルの初期機能としてはありませんが、既存サイトのイベントカレンダー機能を、ポータルのパーツとして組み込むなどは可能です。</p> <p>ただし、各団体が自主更新できるようにするには、カレンダーへのアクセス権限などの工夫・検討が必要と思われます。</p>

<p>Q32. イベント情報はブログと同様表示可能か？</p>	<p><u>回答者：CANPAN</u></p> <p>公益ポータル初期機能としてはありませんが、イベント情報側にRSSが組み込まれていれば、ブログと同様に更新情報の表示を行うことは可能です。</p> <p>CANPANの「ニュース」や「たのサポ」、「助成情報」等の各機能にはRSS機能が付いています。</p> <p>ただし、MODxのパーツを利用するかGoogleリーダーを利用して組み込むなど、ある程度の技術的対応が必要です。</p>
<p>Q33. FAQ機能は？</p>	<p><u>回答者：CANPAN</u></p> <p>CANPANの機能のひとつとして、「掲示板」や「サイトの相談機能」があります。各公益ポータルの連携によりこの機能を活用することでFAQとして充実したいと考えています。 (CANPANトップ&gt;掲示板 or サイトの相談機能 参照)</p>
<p>Q34. フレーム・各ページどこでもjpgやPDF、Word等を貼り付けられるか？</p>	<p><u>回答者：CANPAN</u></p> <p>公益ポータルの管理者として操作できるページであれば基本的には可能です。</p>
<p>Q35. CB（コミュニティビジネス）、SB（ソーシャルビジネス）の事例集として利用できるのか？</p>	<p><u>回答者：CANPAN</u></p> <p>公益ポータルをCBやSB向けのサイトとして展開することも可能です。</p> <p>ただし、事例集のデータを保存するデータベース項目はないので、CANPAN CSRプラスや独自サイト等との連動が必要になると思われます。 &gt;CANPAN CSRプラス <a href="https://canpan.info/csr">https://canpan.info/csr</a></p>
<p>Q36. 各団体に対してユーザーが評価（第三者的な評価）をする機能は？</p>	<p><u>回答者：CANPAN</u></p> <p>設ける予定はありません。公益ポータル運営者である中間支援組織による団体情報の確認が、基礎的な評価であると考えています。</p>
<p>Q37. 利用者の満足度の確認方法は？</p>	<p><u>回答者：CANPAN</u></p> <p>公益ポータルに関する満足度を確認する方法はシステム上では、提供していません。アクセス数を分析してはいかがでしょうか。</p> <p>GoogleAnalyticsでのアクセス分析やアンケート調査などで満足度やニーズを調べる、などの方法があります。</p>



<p>Q 38. 携帯電話でも閲覧できるか？</p>	<p><u>回答者：CANPAN</u> 閲覧できます。ただし、完全対応ではありませんので、キャリアや機種によって可否や見え方は異なります。</p>
<p>Q 39. その他、各団体が活動に使える I T ツールは？</p>	<p><u>回答者：CANPAN</u> メールマガジン発行、掲示板、たのサポなどの機能があります。メールマガジン発行は、ユーザー登録すれば、すぐに可能です。 署名集め機能については、外部のソフトウェアはあるので、CANPANの機能として使えるかは今後検討します。 また、現在、学会支援（ACネット）として提供している会費納入、総会の告知・出欠確認などの事務支援サービスを提供できるかどうかを検討します。その際に、公益ポータル運用団体にも営業協力をお願いするかもしれません。 &gt; ACネット（CANPAN Academic Network） <a href="http://canpan.info/acnet/">http://canpan.info/acnet/</a></p>
<p>【CANPANの開発方針について】</p>	
<p>Q 40. 日本財団は、中長期的にインフラ提供にご協力いただけるのか？</p>	<p><u>回答者：CANPAN</u> CANPANは日本財団の活動における三本柱の一つです。 また、「民が民を支える社会を推進し、明るく元気な暮らしやすい日本を実現する」という日本財団のミッションとも一致するだけでなく、トップの理解も得ている事業でもあります。 現状では2014年までの開発計画を立てて取り組んでいますが、中長期的にインフラ提供を行う方針です。 CANPANとしては、ポータルの数が増えて資金をはじめとする資源の流通実績があがるとともに、中間支援組織の役割や重要性が目に見える形で成果をあげるようになると、組織内での説得力や計画の持続力も高まりますので、ご協力よろしくお願ひします。</p>
<p>Q 41. 「CANPAN」を使う意味、妥当性をNPOにどう伝えるか？ CANPANの優位性は継続していくのか？</p>	<p><u>回答者：CANPAN</u> CANPANはIT企業が技術力で勝負するサイトではないので、技術的に日進月歩で進化することはあまり期待しないでいただきたいです。今後も「共感×信頼＝支援」というコンセプトをベースに展開していく予定です。 このコンセプトがCANPANの独自性です。そして、この独自性に共感する中間支援組織がコンセプトに一致するシステムを選択する、このことがCANPANを使う妥当性と考えています。</p>

<p>Q 4 2 . 機能拡張の将来性は？ 「G o o g l e」 「Y a h o o ! ボランテ ィア」 「日本NPOセンター」等 との連携は？</p>	<p><u>回答者：CANPAN</u> 現在のところ、これらのポータルサイトとの具体的な機能の 連携について予定はありません。 ただし、それらの機能（G o o g l eリーダーなど）の利用 については否定するものではなく、W e b 2 . 0 的な考え方か らしても、CANPANが必要な機能を全て独自に開発するの ではなく、核となる部分以外は、他のサービスや機能を組み合 わせるといった考え方をお願いします。</p>
<p>Q 4 3 . 長期的に、公益ポータルの利用料 を無料にするのか？</p>	<p><u>回答者：I I H O E (&amp; C A N P A N)</u> 団体DBやブログの利用など基本的なサービスの利用は無 料ですが、決済サービスなど一部の機能については、利用料が 発生するものがあります。 また、行政や企業などの出資者が存在する場合には、公益ポ ータルの構築費用や利用料を徴収することも検討します。</p>
<p>Q 4 4 . 公益ポータルの運用手段としては 必ずCANPANのポータルを利 用しなければならないのか？</p>	<p><u>回答者：CANPAN</u> CANPANのポータルシステムの利用にこだわる必要は ありません。CANPANも選択肢の一つであるので、どの選 択肢を選ぶかは、各地域や運用団体の事情に合わせて考えてく ださい。</p>

3. 公益ポータル運用者の要件について	
<p>Q 4 5. 運用者の要件は？</p>	<p><u>回答者： I I H O E</u></p> <p>基本的な要件は、以下の4つです。</p> <p><u>①中間支援組織自身が、情報の開示に努めていること。</u></p> <p>運用者自身の情報開示レベルが低いと、他団体へ参加を呼びかけたり、支援を行うのは難しいでしょう。★5つを目指しましょう。</p> <p><u>②中間支援組織として、NPOへの支援の実績があること</u></p> <p>地域や分野で活躍する団体と信頼関係・顔の見える関係が築けていることを大前提として、各団体の情報戦略を考え、情報開示や更新を支援する力があることが要件です。</p> <p><u>③企業や行政など他のセクターを巻き込み、支援を引き出し、協働を促す力があること</u></p> <p>公益ポータルの目的は、市民や企業や行政など様々な主体が、公益というテーマでNPOと結びつき、地域の問題解決や活性化を図ることです。</p> <p>これまで、企業や行政との関係が薄い地域では、「協働環境自己採点ワークショップ」や「CSR勉強会」などの機会を活用して、巻き込んでいきましょう。</p> <p><u>④ITに関する一定の知識やスキルを有するスタッフがいること</u></p> <p>公益ポータルは、MODxというCMS（コンテンツマネジメントシステム）を利用して、必要な機能を組み合わせてサイトを運用することになっています。</p> <p>導入設計段階や日々の運用に関して、CANPAN事務局のスタッフがサポートします。ただし、あくまでも技術面も含めた運用主体は各中間支援組織のスタッフとなります。ただ、凝った使い方をしなければ、ブログを管理・運営する程度の技術でも可能です。</p> <p>また、各運用者のスムーズな運用（特に技術面）を支援するために、MODxの技術習得のための講習会開催等のサポートも検討しています。</p>
<p>Q 4 6. 運用者は財団法人でもよいか？</p>	<p><u>回答者： I I H O E (&amp;CANPAN)</u></p> <p>もちろんOKです。</p>

<p>Q 47. 行政は公益ポータル運用主体にはなれないのか？</p>	<p><u>回答者： I I H O E ( &amp; C A N P A N )</u></p> <p>民間の中間支援組織が運営主体となるのが原則と考えています。ただし、行政に対して公益ポータル上の情報を提供することは可能です。</p> <p>指定管理者として運営する市民活動センターなどで公益ポータルを運営する場合は、受託団体の変更時にデータの所有権が誰に帰属するかなど悩ましい問題も発生しかねず、慎重な議論が必要だと考えています。</p>
<p>Q 48. 地域に複数の公益ポータルがあってもよいのでは？</p>	<p><u>回答者： I I H O E ( &amp; C A N P A N )</u></p> <p>地域の大きさにもよるでしょう。県域よりも市町村別・テーマ別の方が、程よい大きさのコミュニティである場合には、複数あった方がいいかもしれません。管理する団体が多過ぎると、支援も行き届きにくくなることも考えられます。</p> <p>逆に、さほど大きくない地域に複数の公益ポータルがあると、ポータルとして様々な資源が集約される効果が低減しかねません。同じ地域に複数の中間支援組織がある場合は、それらの組織間で公益ポータルを合同で運営する協議会を設け、連携しながら取り組むのがベターだと考えます。</p>
<p>Q 49. 公益ポータルを運用している団体が解散、もしくは休眠するなどの理由で、運用ができなくなった場合、別の中間支援組織が、公益ポータルの運用を引き継ぐ場合の要件は？</p>	<p><u>回答者： I I H O E ( &amp; C A N P A N )</u></p> <p>各地域の中で、別の主体が公益ポータルの運用を引き継げるようであれば、その方が望ましいと考えますが、その場合にも、引き継ぐ団体が公益ポータル運用団体の要件を満たしていることが条件です。</p> <p>C A N P A N と運用団体間で締結する「覚書」も、こうした場合を想定し、内容の検討を進めます。</p>

<p>Q50. 公益ポータル運用にあたってのCANPANとの契約（覚書）の内容は？</p>	<p><u>回答者：CANPAN</u></p> <p>詳細は検討中ですが、基本条項としては以下の様な内容を想定しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的</li> <li>・ 年限（利用期間）</li> <li>・ 費用（構築費、運営費）の負担について</li> <li>・ 提供するサービス範囲</li> <li>・ 役割と責任範囲</li> <li>・ 禁止事項</li> <li>・ 情報の取り扱い（個人情報含む）</li> <li>・ 著作権ならびに所有権</li> <li>・ 免責事項</li> <li>・ 損害賠償（万一の事故発生時）</li> <li>・ 守秘義務・協議・管轄裁判所</li> <li>・ 契約の更新や変更、解除</li> </ul> <p>また、組織ごとに異なる部分については、別途、特記事項として締結します。</p>
<p>Q51. 公益ポータルに寄せられた団体情報や活動情報の帰属、著作権はどうなるのか？</p>	<p><u>回答者：IIHOE（&amp;CANPAN）</u></p> <p>公益ポータルに寄せられる情報は、基本的には主体者（団体やポータル運営者）が提供（登録）する情報が主となります。そして、CANPANでは著作権は情報を提供（登録）した主体者に帰属すると位置づけておりますので、団体DBや、ブログ等の情報は、提供（登録）した団体やポータル運営者に帰属します。</p> <p>そのため、行政からの委託や指定管理により、公益ポータルや団体DBを管理、運営する場合には、情報の所有や、管理について、行政に権限はポータル運営側にあることを説明して理解させておくことが不可欠です。</p> <p>以上のことから、ポータル運用は、中間支援組織の本体の取り組みとし、行政に公益ポータルで提供しているサービスを買ってもらうことをお勧めします。</p>
<p>Q52. 「ポータル運営って何？」をITスキルのないスタッフ・理事にどう説明すればいいか？</p>	<p><u>回答者：IIHOE</u></p> <p>すでに運用が始まっている「みやぎ公益活動ポータルサイト みんな」の画面を参照しつつ、公益ポータルの取り組みの背景や趣旨を説明しましょう。</p>

4. 公益ポータル運用者の業務内容について	
<p>Q53. 公益ポータル運用者の業務の内容は？</p>	<p>回答者： <u>IIHOE (&amp;CANPAN)</u></p> <p>主に、以下の4項目です。</p> <p>①公益ポータルの基本機能（画面）のカスタマイズ、コンテンツ作成</p> <p>②NPOへの登録呼びかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すでにDBがある場合は、データ移転に伴う諸作業</li> <li>・情報開示ワークショップやブログ講座の開催</li> <li>・登録確認（認証業務）、場合によっては入力代行業務も。</li> <li>・団体情報の更新(年一回)依頼</li> </ul> <p>③NPOの支援者となる市民や企業、行政への公益ポータルへの広報、巻き込み</p> <p>④登録の更新業務</p>
【公益ポータル参加団体の設計について】	
<p>Q54. 公益ポータルに参加する団体（ターゲット）は、どのように決めればいいのか？ 数多く参加できることを優先すべきか、要件を厳しくして質を重視すべきか？</p>	<p>回答者： <u>IIHOE</u></p> <p>「一定の質を伴う団体の数を増やす」というのが公益ポータルの基本的な考え方です。</p> <p>一定水準の情報の開示や更新を要件とすることで、信頼されるNPOのコミュニティを形成し、社会に発信していくことが公益ポータルの趣旨です。</p> <p>ただし、どの水準の情報開示を求めるのかについては、ポータルを運用する団体の方針によります。NPOと何を結びつけて、どういう価値を生み出したいのかという方針に基づいて、参加団体のターゲットや要件を設定してください。</p>
<p>Q55. 公益ポータルへ「参加して欲しくない団体」から申し込みが来た際はどうか対応すればよいか？</p>	<p>回答者： <u>IIHOE</u></p> <p>運用側で、ポータルの趣旨や、登録（認証）要件を決めていただき、その要件を満たさない場合は、お断りすることを原則としましょう。</p>
<p>Q56. DVシェルター団体等、団体情報は公開できないが、活動内容やサービスの存在を知らせていきたいという団体の参加は？</p>	<p>回答者： <u>IIHOE</u></p> <p>公開できる情報、出せない情報を整理して、情報の出し方を工夫することが必要と思います。なお、出せない理由が適切であれば、公益ポータルへの参加を承認してかまいません。</p>
<p>Q57. 町内会やワーカーズコープなどの共益団体は登録可能か？</p>	<p>回答者： <u>CANPAN</u></p> <p>運用団体の判断によります。</p> <p>なお、CANPANとしては、法人格や団体種別による制限はございません。なんらかの点で公益という要素があれば、CANPANの利用資格はあると位置づけています。</p>

<p>Q58. 企業の地域貢献活動の紹介などのPRはOKか？</p>	<p><u>回答者：CANPAN</u></p> <p>公益活動の担い手として、ユーザーとして団体DBに登録することも基本的にはOKです。どんな企業ならOKかの規則は、今後検討します。コミュニティビジネスや、個人商店についても同様です。</p> <p>ただし、決済機能などの商用利用については、別途ガイドラインを検討します。</p>
<p>Q59. NPOの情報開示レベルが基準を下回った、更新されない場合、どの時期・タイミングで団体の登録を削除するか？</p>	<p><u>回答者：IIHOE (&amp;CANPAN)</u></p> <p>CANPANの団体DBは、3年間、情報の更新がないと自動的に登録が削除される仕組みになっています。</p> <p>これとは別にポータル運用団体側で設けた認証の仕組みにより、1年間更新がない場合は、認証団体のマークを削除するなど独自のルールで運用していくことができます。</p>
<p>【第三者認証（認証マーク）について】</p>	
<p>Q60. 情報開示レベルが「★5つ」の団体のみ信用できる団体と位置づけるのか？</p>	<p><u>回答者：IIHOE</u></p> <p>★印は、団体の情報開示レベル（設問項目への回答量）が表されるもので、その内容については自己の評価に基づくものです。</p> <p>ポータル運用団体側で独自の認証基準を作成して、認証することで、★以外で、信用性を担保することも可能です。</p> <p>CANPANのポータルでは、この自己評価に基づく情報開示度とポータル運営者による第三者認証という二つの軸で信用性を担保し、可視化できるところが特徴です。</p>
<p>Q61. 第三者による認証とは？（認証マークとは？）</p>	<p><u>回答者：IIHOE (&amp;CANPAN)</u></p> <p>公益ポータルでは、責任ある情報開示を目指すNPOが社会的な信頼を高めていくために、各公益ポータルを運営する中間支援組織によって、開示情報の信頼性が確認された団体に「認証マーク」を付与する仕組みになっています。</p> <p>各公益ポータルを管理する中間支援組織が、各サイト内に登録・公開されている団体情報を一定の基準に基づいてチェックし、掲載内容が実際の文書（事業報告書等）の内容と一致するなどして、掲載情報が確認された団体に、信頼性の証として認証マークを贈るものです。これにより公益ポータルは、情報の量の増加だけでなく、質の向上も同時に実現することが可能となります。</p> <p>認証の基準は、各公益ポータルごとに異なってもよいと考えますが、全体としての信用の担保として、全運用者が共有する最低限の基準を設けておく必要があると考えます。</p>

<p>Q62. 事業報告書が所轄庁のウェブサイトに公開されているが、別途現物資料を集める必要があるのか？</p>	<p><u>回答者： I I H O E</u></p> <p>所轄庁に提出されている事業報告書の多くは、1ページから数ページのものが大半で、社会から信頼を得る対象ではありません。</p> <p>各団体が、総会で承認された事業報告書を団体DBに公開し、ポータル運用団体が、公開の内容が現物と一致するかを確認できれば、団体データベースの精度は大きく高まり、信頼性は増大します。</p> <p>ただし、事業報告書を公開するためにデジタルデータ化することには、一定の労力、コストが伴うという課題もあります。</p>
<p>Q63. 書類を確認するだけでは不十分ではないか？</p>	<p><u>回答者： I I H O E</u></p> <p>せんだい・みやぎNPOセンターでは、事業報告書や計画書の現物書類をもとに、団体DB情報のチェックを行うことを登録の要件としていますが、場合によっては、団体関係者へのヒアリング、事務所訪問などさらに厳しい要件を設ける場合もあるかもしれません。</p>
<p>Q64. 複数の認証マークは、見る側が混乱しないか？</p>	<p><u>回答者： I I H O E (&amp;CANPAN)</u></p> <p>複数の認証マークがあることは、多くの中間支援組織と関係があり、そのチェックを受けているということで、より信頼感が高まるものと考えています。ただし上述のとおり、各公益ポータルがどういう基準で認証マークを発行しているのかについては、明示する必要があります。</p> <p>CANPAN上でも、認証マークの意味合いが分かるような工夫を今後検討していきます。</p>
<p>【サポート資源とのマッチングについて】</p>	
<p>Q65. 独自のファンドを持たなくても公益ポータルを運用していけるか？</p>	<p><u>回答者： I I H O E</u></p> <p>地域やテーマで括り、その地域、テーマに関連するしっかりした団体が集まっていることで、それだけでも十分価値を持つと考えられます。</p> <p>独自のファンドを持ち、ファンドへの申請条件として情報開示を義務付ければ、NPOの情報開示が促進することと、地域の資源の流通の相乗効果が生まれますが、ファンドを持たなくても、登録・更新・開示度のアップを実現することができればOKです。</p>
<p>Q66. 「マッチング機能」で運用者側の責任は？</p>	<p><u>回答者： I I H O E</u></p> <p>人材や資金などのサポート資源とのマッチング機能については、運用する側が、情報が共有できる基盤を整備して自由なマッチングを促すのか、趣旨に添った適切なマッチングが行われるよう選考プロセスに関与するのかなど、どういう方針をとるのかによって異なります。責任は運営者の規定によることになります。</p>



【NPOの参加の促進について】	
<p>Q67. 公益ポータルに参加した団体の成功事例は？</p>	<p>回答者：I I H O E（&amp;CANPAN）</p> <p>ブログでの情報の発信を続けることで、アクセス数がアップし、会員数も増えたという事例や、ブログを見た人から寄付や、支援の申し出があった事例などがあります。</p> <p>今後、公益ポータルを推進する各中間支援組織から、優れた情報開示の事例を集めた「事例集」を作成しますので、ぜひご協力いただくとともに、完成の折にはご活用ください。</p>
<p>Q68. 団体に対して公益ポータルへの参加（登録）のメリットを、どのように伝えていけばいいか？</p>	<p>回答者：I I H O E</p> <p>公益ポータルに参加することで、社会から求められている情報開示を適切に行えらるとともに、第三者認証による団体の信用創造も進むことで、社会から様々な支援を引き出すことが、公益ポータルに参加する本質的なメリットです。</p> <p>また、ブログでの情報発信についても、単独で取り組んでいるときよりも多くの方に認知される可能性が高まり、より共感を得やすくなるというメリットもあります。</p> <p>団体の情報開示に関するワークショップやブログ講座を開催し、公益ポータルの趣旨や登録手続きについて説明する他、情報の開示や発信を通じて、支援が広がった事例の紹介なども有効でしょう。</p> <p>なお、ITに対する理解やスキルが乏しい団体に対しては、個別訪問の上、説明することも必要かもしれません。</p> <p>導入段階で、運用団体からの情報入力の代行やサポートなどの取り組みは、公益ポータルへの参加を促すセールスポイントになるでしょう。</p> <p>せんだい・みやぎNPOセンターが発行した「地域公益ポータル構築マニュアル」も参考にしてください。</p>

<p>Q69. すでに他のブログを使っている人（団体）に公益ポータルに引っ越ししてもらうには？</p>	<p><u>回答者： I I H O E（&amp; C A N P A N）</u></p> <p>公益ポータルに登録した団体に対して提供する機能、サービスを充実し続けることが重要でしょう。引っ越しをファンドから助成を受けたり、公益ポータルが運営する電子モール（商店街）への参加要件にするなど、運用団体側で、参加するメリットを示していきましょう。</p> <p>CANPANブログの機能の一つに、ブログの引っ越しができる「インポート機能」があります。これを活用してください。</p> <p>なお、引っ越しをしなくても、G o o g l eリーダーやM O D xのパーツを利用すれば、CANPANブログに限らず選んだブログを表示対象とすることも可能ですので、引っ越しは必須ではありません。</p> <p>また、各団体のHPの構造を変えていただく必要はありません。既存のHPと公益ポータルの団体DBやブログと、相互リンクを貼ることができれば十分対応できます。</p>
<p>Q70. CANPANブログ参加者を公益ポータルに、まとめて移行してもらうには？</p>	<p><u>回答者： I I H O E（&amp; C A N P A N）</u></p> <p>CANPANブログ利用者を集めて、説明会を開催し、公益ポータルの趣旨説明と合わせて、移行の手続きについて説明を行っていただく必要があります。せんだい・みやぎNPOセンターが発行した「地域公益ポータル構築マニュアル」を参考にしてください。</p> <p>なお、CANPANの個人ブログから団体ブログへの移行はできません。移行時の適切な対応方法のご案内や団体ブログ講座の開催などによって、CANPANも協力します。</p>
<p>Q71. 公益ポータルの参加に際して、各団体のウェブサイトの構造を変えていただく必要はあるか？</p>	<p><u>回答者： I I H O E（&amp; C A N P A N）</u></p> <p>各団体のウェブサイトの構造を変えていただく必要はありません。既存のウェブサイトと公益ポータルの団体DBやブログと相互リンクを貼ることができれば十分です。</p>
<p><b>【情報の開示、発信の支援について】</b></p>	
<p>Q72. 各団体が情報開示レベルとして、「★3つ」以上獲得するためには、どんな指導が必要か？</p>	<p><u>回答者： I I H O E（&amp; C A N P A N）</u></p> <p>情報開示の意義と必要性を、根気よく団体に説明することが必要です。これは大きな労力がかかることですが、ここが足りないから、NPOが今のような状況にあるという点を忘れず、粘り強く取り組んでください。</p> <p>★以外の認証については、現状ではポータル運用団体による認証マークのみです。認証マークが社会的にも意味のあるマークとなるように推進するのが、公益ポータル推進プロジェクトの目的のひとつです。ぜひご協力ください。</p> <p>別の指標については、現時点では予定はありませんが、M O D xの機能などで、人気ブログランキングなどを表示できないかなど、引き続き調査します。</p>

<p>Q73. 質の高い情報開示のために、各団体にどこまで踏み込んで情報を出してもらうのか？ また、それにはどの程度の手間がかかるのか？</p>	<p><u>回答者： I I H O E</u></p> <p>公益ポータルを、信用を創造する情報開示基盤とするためには、一定の水準を越える（★3つ程度が目安？）情報開示を行うことが、公益ポータルに参加する団体にも求められます。</p> <p>情報開示の意義と必要性を、根気よく団体に説明することが必要です。前述のとおり、これは大きな労力がかかることですが、ここが足りないから、NPOが今のような状況にあるという点を忘れず、粘り強く取り組んでください。</p> <p>初期の段階では、運用団体が、個別のNPOに説明に回り、開示を支援することも必要でしょう。せんだい・みやぎNPOセンターが発行した「地域公益ポータル構築マニュアル」も参考にしてください。</p>
<p>Q74. 活動報告の掲載や、説明責任を果たすツールとしてブログはどこまで有効か？</p>	<p><u>回答者： I I H O E</u></p> <p>ブログでも、活動報告を掲載したり、説明責任を果たすことは十分に可能です。団体DBでも団体の事業報告書などを開示することで、共通のフォーマットで比較が可能な場に情報開示することになり、団体自体の信用性もより高まります。</p> <p>ブログの一番の武器は、何気ない日々の活動情報を出すことで、自分たちの活動に「共感」し、「応援者」となる人が見つかるチャンスが大きく広がることだと思います。</p>
<p>Q75. 団体にブログを更新してもらうためには、どんな取り組みが必要か？</p>	<p><u>回答者： I I H O E</u></p> <p>ブログ講座を開催し、初心者でも立ち上げられるようサポートする他、すでに使っている団体に対しても、どうすればもっとアクセス数が増えるかなど、段階に応じた講座の開催が有効でしょう。</p> <p>運用団体の側でも積極的に情報発信に取り組む団体に対して、「ポータルサイト上でピックアップする」、「記者などに紹介して、取材をお願いする」、「オフ会を開催しブログを共通項にしたネットワークを構築する」など、情報を発信する団体を応援する取り組みも必要です。</p> <p>その他、ファンドの運用を行っている場合は、助成を受けた団体に対して、ブログで事業の経過報告を義務づけるなどして、プロセスや成果を発信してもらうなども検討してください。</p> <p>CANPANでは今後、更新頻度が高いとDBやブログに★が増えたり、色が変わるなど、公益ポータル上で視覚的に示す機能の開発や、取材した記事を掲載することを検討しています。</p>

【市民や企業の参加の巻き込みについて】	
<p>Q76. 市民や企業に見てもらえる公益ポータルを運用していくには？</p>	<p>回答者：I I H O E</p> <p>トップページの「お知らせ」や、コンテンツの更新、メルマガでの情報発信など、参加者を引きつける取り組みが重要です。ただし、人の手で行う作業なので、費用をどう賄うのかが課題です。</p>
<p>Q77. 企業の参加や支援を引き出すために必要な方策は？</p>	<p>回答者：I I H O E</p> <p>公益ポータルのコンテンツとして、企業のCSRの取り組みや、社会貢献活動についての取材記事、NPOが企業のCSRを支援した成功事例などを掲載する場を設けましょう。</p> <p>また、地元企業にCANPAN CSRプラスに登録してもらい、自社のCSRの取り組みを社会に向けて発信してもらうよう働きかけることも必要です。</p> <p>そして、こうした取り組みを進めるために地域でCSR勉強会を開催し、CSRに取り組む地元企業とNPOとのコミュニティをつくっていくことも運用団体の役割です。</p> <p>また、企業の参加を促すには、同じ企業人からの働きかけが有効です。せんだい・みやぎNPOセンターの「せんだいCARES」のように、企業も参加しやすい取り組みで、企業と接点をつくり、関係を深めていくことも、最初の段階としては有効でしょう。</p> <p>今後、CANPANではCANPANの団体DBとCANPAN CSR プラスの企業情報とを「協働」や「支援実績」などの情報とリンクすることを検討し、開発に盛り込んでいきます。</p>

5. 公益ポータル運用に係る労力、コストについて	
Q78. 公益ポータル運用に必要な労力はどれくらいか？	<p>回答者：I I H O E</p> <p>運用するポータルの内容により異なります。団体情報の現物認証を行い、各種のサポート資源とのマッチングを行っているせんだい・みやぎNPOセンターでは、週4日勤務の専任職員を1名配置していらっしゃいます。</p>
Q79. 公益ポータルの運用には、どのような人材が必要か？	<p>回答者：I I H O E (&amp; C A N P A N)</p> <p>立ち上げに際しては、ある程度のITスキルを持つ人が担当できれば望ましいです。以降の運用については、ブログを扱えるレベルのスタッフでも可能です。</p> <p>ただし、初期設定された機能以外の機能を活用したいケースなどは、MODxをある程度使える必要が出てきます。ただし、一時的にしか発生しない作業ですので、これらはIT業者に委託することで対応するのが望ましいと思います。</p>
Q80. 専門的なサポーターを募る場合、「どんなことができる人」がいいのか？	<p>回答者：I I H O E</p> <p>公益ポータルの活発な運用のために、サポーターに協力してもらうことも有効でしょう。</p> <p>ウェブ制作業務の経験者であれば、ポータルのデザインやコンテンツ制作もお願いできるかもしれません。また、団体への連絡、団体DBへのデータ入力の支援や代行などにボランティアの協力があれば、多くの団体の情報開示が進められます。</p> <p>なお、個々の団体の情報開示、発信に協力する場合、公益ポータル運用団体側（サポーター）が、どこまで支援するのかについて、明確にしておく必要があります。</p>
Q81. 技術的な面での対応をできる人がいない場合はどうするか？	<p>回答者：I I H O E (&amp; C A N P A N)</p> <p>前述のように、立ち上げ後はブログを扱えるレベルでOKですが、ポータル運営の安定性、継続性を考えると、ある程度の技術担当者を確保することが望ましいです。</p> <p>ただし、公益ポータル運用団体の実務担当者同士で相互に学び合い、支え合う、高め合えるオンライン、オフラインのコミュニティづくりを、これからも進めていきます。</p>
Q82. ユーザーからの技術的質問への対応は？	<p>回答者：C A N P A N</p> <p>CANPAN運営事務局で、電話でもお答えできます。特に、CANPANの機能や利用に関するお問い合わせであれば、CANPAN事務局をご活用ください。</p> <p>ただし、ポータルの運営や技術に関する質問については、まずはポータル運営者でご対応いただき、必要に応じてCANPAN事務局をご活用いただくよう、お願いします。</p>

<p>Q 8 3 . 運用者の支援力を高めるには？</p>	<p><u>回答者： I I H O E</u></p> <p>「地域・テーマ公益ポータル」推進プロジェクトの会議での運用者団体間の勉強会やノウハウ共有などとともに、I I H O E も中間支援組織対象の支援力セミナーを各地で開催しております。ぜひご参加ください。</p>
<p>Q 8 4 . 公益ポータルの運用コストは？</p>	<p><u>回答者： I I H O E (&amp; C A N P A N)</u></p> <p>運用するポータルの内容により異なりますが、登録や更新の呼びかけ、システムやコンテンツの管理など、運用者には、公益ポータル運用のために一定の運用コスト（人件費も含め）が必要です。</p> <p>基本的なシステムの開発費用はC A N P A N が負担しますが、ポータルのカスタマイズやコンテンツ作成、各N P O の情報発信の支援や公益ポータルを利用した中間支援業務は、中間支援組織の本来業務として、各中間支援組織で費用をご負担いただくのが適当と考えます。</p> <p>なお、公益ポータルの運用者になるために、特別な機器などは必要ありません。インターネット接続できる環境があれば、ハード的には新たな運用コストは発生しません。</p> <p>なお、団体情報の現物認証を行い、サポート資源とのマッチング機能も提供する場合、専任職員の人件費等を含め、年間400万円程度が目安です（せんだい・みやぎN P O センターの例）。</p>
<p>Q 8 5 . 公益ポータルの運用コストをどう確保していけばいいか？</p>	<p><u>回答者： I I H O E (&amp; C A N P A N)</u></p> <p>バナー広告や、アフィリエイトなど行い、収入確保に結びつけることは基本的に自由です。</p> <p>公益をテーマとしたポータルサイトの広告として、ふさわしくないものでない限り、現時点では、特段の規制は考えておりません。</p> <p>各公益ポータル運用団体のご判断で、戦略的な運用をご検討ください。</p> <p>宝塚N P O センターが運用する「関西ええこと.m o t」では、メインのポータルをベースに、市町村や自治会、商店街等にサブポータルの仕組みを提供し、利用料を徴収して、運営費の確保につなげています。</p> <p>C A N P A N のポータルではサブポータルの利用開始はまだ先となりますが、ポータル運用の収入確保モデルとしては参考になります。</p>